

東海北陸自動車道試掘調査

東海北陸自動車道建設予定地内、(仮称)林野遺跡、(仮称)門間A遺跡、大毛遺跡、(仮称)福塚遺跡、(仮称)西上免南遺跡、(仮称)大和町A遺跡、(仮称)馬引遺跡における遺跡の有無およびその範囲の確認を目的に行った。調査期間および調査面積は下の表のとおりである。

(仮称)林野遺跡 (一宮市大和町北高井、荏安賀、萩原町林野) 西尾張中央道の東側10地点で調査を行った。3箇所では時期不明の落ち込みを確認したが、明確な遺物包含層は確認されなかった。

(仮称)門間A遺跡 (葉栗郡木曽川町大字黒田、大字門間) 10地点で調査を行った。東よりの5地点と西からの2地点から古墳時代の溝や土坑・竪穴住居などの遺構が検出できた。また、それらの地点の間で井戸など平安時代から中世にかけての遺構を検出した。

大毛遺跡 (葉栗郡木曽川町大字黒田) 昨年度、一宮市大毛地内を試掘したのに引き続き木曽川町地内4箇所を調査した。各地点、耕作土直下から古代から中世にかけての遺構及び包含層を確認した。

(仮称)福塚遺跡 (葉栗郡木曽川町大字黒田四の通り、五の通り、六の通り) 4地点で試掘調査を行った。各トレンチとも耕作土直下に湿地状の堆積層である灰色シルトが堆積しており、明確な遺構及び遺物包含層は確認できなかった。

(仮称)西上免南遺跡 (尾西市開明字西上免、字東新規道) 5箇所では調査を行った結果、南2地点で奈良時代の溝及び土坑を確認した。その拡がりを確認するため、さらに南に3箇所のトレンチを設定したが、明確な遺構は確認されなかった。

(仮称)開明A遺跡 (尾西市開明字荏安賀道) 4箇所のうち南の2地点で中世の土坑を確認した。水田面直下から鎌倉時代を中心とする遺物が出土し、TT.3からは黄褐色細粒砂層を掘り込んでいる土坑が確認され、その埋土からは縄文晩期の土器が出土した。中世から縄文晩期にかけての小規模な遺跡と推定される。

(仮称)大和町A遺跡 (一宮市荏安賀字川田、字火口上) 最も北の地点で溝2条を確認、中世から近世にかけての土器が多量に出土した。他3地点では出土遺物がきわめて少なく、明確な遺構・遺物包含層は確認されなかった。

(仮称)馬引遺跡 (一宮市大和町馬引字西出、尾西市籠屋4丁目) 南2地点では、攪乱が激しく明確な遺構・遺物包含層は確認されなかった。北2地点では中世の遺構及び包含層が確認された。

(太田芳巳)

遺 跡 名	調 査 期 間	調査面積	遺 跡 名	調 査 期 間	調査面積
林 野	4 / 2 ～ 12	100㎡	西上免南	7 / 20 ～ 12 / 8	80㎡
門 間 A	4 / 23 ～ 5 / 24	100㎡	開 明 A	9 / 17 ～ 20	40㎡
大 毛	4 / 28 ～ 5 / 26	40㎡	大和町 A	12 / 8 ～ 13	50㎡
福 塚	5 / 25 ～ 27	40㎡	馬 引	12 / 13 ～ 14	40㎡



木曾川町

田所遺跡

大毛池田遺跡

大毛沖遺跡

(仮称) 福塚遺跡

(仮称) 門間A遺跡

西上免遺跡

(仮称) 西上免南遺跡

尾西市

(仮称) 開明A遺跡

(仮称) 馬引遺跡

一宮市

(仮称) 大和町A遺跡

(仮称) 林野遺跡